

あなたを想う、プロになる

リニエ



おたより

2025

3月

MARCH

訪問看護・リハビリって？
それぞれの専門職の役割

PhotoTime

90代 中野さま

ご利用者ととともに

子の将来を見据え 「自立」を考える

株式会社リニエL 広報推進課 米澤

事業所一覧

【訪問看護】

リニエ訪問看護ステーション四ツ橋
リニエ訪問看護ステーション四ツ橋サテライト平野
リニエ訪問看護ステーション港
リニエ訪問看護ステーション住之江
リニエ訪問看護ステーション住之江サテライト南港
リニエ訪問看護ステーション鶴見
リニエ訪問看護ステーション鶴見サテライト天満
リニエ訪問看護ステーション西淀川
リニエ訪問看護ステーション東淀川
リニエ訪問看護ステーション岸和田
リニエ訪問看護ステーション泉佐野
リニエ訪問看護ステーション枚方

リニエ訪問看護ステーション枚方サテライト大東
リニエ訪問看護ステーション二条
リニエ訪問看護ステーション草津
【デイサービス】
PDリハビリ特化型リニエデイサービス岸和田
PDリハビリ特化型リニエデイサービス泉佐野
生活機能ステップアップ型リニエデイサービス藍住
【児童発達支援・放課後等デイサービス】
リニエプラッツ本町
リニエプラッツ阿波座
リニエプラッツ枚方
リニエプラッツくずは
リニエプラッツ草津

【栄養ケア・ステーション】

リニエ認定栄養ケア・ステーション岸和田

【相談支援】

リニエ相談支援本町

【訪問介護】

リニエ訪問介護ステーション藍住

【サービス付き高齢者向け住宅】

リニエハイム藍住

【小児向け自費教育】

リニエシュレ江坂
リニエシュレ世田谷



子の将来を見据え 「自立」を考える

株式会社リニエL 広報推進課 米澤
よねざわ



障害福祉の制度は時代を経て変化し、今、「自立」が大きなテーマとして掲げられています。福祉分野での自立とは、「自己決定に基づいて主体的な生活を営むこと」、「障がいがあっても自身の能力を活用して社会活動に参加すること」という意味を含みます。障がいの有無にかかわらず、我が子の力をいかに伝えていくかという問いに向き合うお母様のお話をうかがいました。

自分で気持ちを伝える 方法を見つける

高校2年生のHくんは、難病を抱えながら、家族とともに暮らしています。音の鳴るおもちゃや外に行くことが好きで、人と関わりながら楽しさを見つけれられる明るい人柄を感じます。毎日支援学校に通い、ヘルパーや放課後等デイサービス、訪問看護など福祉や医療の支援を利用されて、たくさんの支援者に囲まれています。

その根底には、Hくんの将来を見据えたお母様の思いがありました。これから大人になり、Hくんが自分で人生を歩んでいくには、身の回りの支援が欠かせません。「この子が他者を素直に受け入れる気持ちと体を育てないといけない。」そう感じたお母様は、Hくんが幼い頃から、表情や身振り手振りで自ら気持ちを伝えられるように、親子でコミュニケーション



ションを取ってこられたそうです。

成長とともに悩み、 考える

Hくんは、今、学校から就労へと環境が変わる過渡期に差し掛かっています。卒業後の行く先として、生活介護や就労継続支援B型、就労移行などの通いの場がありますが、実際にはまだまだ社会資源が少ないのが現状で、その中でHくんに向合う場所を探すことも大変なことで

す。今後の在宅医療や通う場所も含め、「決断を迫られるのは親。」とお母様自身も不安や葛藤を抱えていらっしやいました。しかし、Hくんに関わる支援者と相談し、各専門分野の視点から助言をもらいながら一緒に考えていける体制がある心強さも教えていただきました。

自立とは、生き方を 発信していくこと

Hくんにとっての「自立」とは何か、「生きる力」「社会貢献」とは何かをお母様はずっと考えていらっしやるそうです。Hくんは表情や視線、行動などで感情や要求を伝えてくれます。会話は難しくても、目の前にはしっかりと彼自身の意思があります。その一つひとつの表現を拾い、意思を尊重すること、そして、Hくんにはできない方法で社会とつながることが、私たちの目指すべき自立

それぞれの専門職の役割

Hくんには、週3回、作業療法士・理学療法士・看護師が訪問しています。日々の生活を支え、将来をともに考えるという目的は同じですが、各専門職による異なるアプローチや役割を聞いてみました。



作業療法士 いずうら 泉浦

成長に伴って、座位保持椅子や歩行器などが体に合わなくなってきたり、動きが大きくなって肌が擦れ、傷や赤みができたりしますが、在宅でリハビリを行うからこそ、すぐにご相談いただける体制があります。訪問時に調整できることもあれば、医療機関に相談いただくのが良いことなどを都度お伝えできるので、Hくんのしたい活動や自宅での生活が続けられるように、生活場面での困りごとと一緒に工夫し、改善してきています。

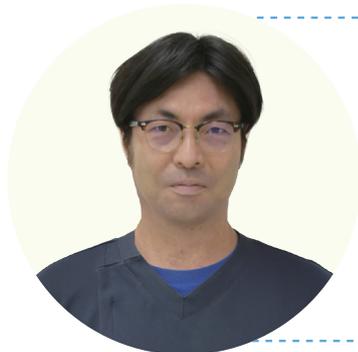
理学療法士 どい 土井

Hくんは歩くことが好きなので、自分の力で外出できる力を養い、社会とつながるために、リハビリでも屋外での歩行練習を取り入れています。リハビリ入院の際には、こちらから病院に状態やリハビリ内容などをお伝えしますし、退院前にはビデオ通話などを活用してHくんのリハビリの様子を見せていただきながら、病院との情報共有も行っています。



看護師 はまの 濱野

Hくんにはたくさんの支援者が関わっているため、統一して適切なケアを行えるよう、ヘルパーや学校の先生方にもケア内容を伝達しています。体調面などご家族の相談窓口として、普段から看護が関わることで、医療面のケアが必要になる場合でもご家族や支援者に適切なケアをお伝えできる役割だと考えています。



の後押しなのだと考えます。
「お金を稼ぐことだけが自立なのではなく、この子が人と関わる中で自分の生き方を発信していくことが自立なのではないか。」と、障がいがあっても、存在そのものが社会に発信できる「光」であることを実感されたお母様。たくさんの人に気づきを与えてくれるHくんは、日々、自立への一歩を歩んでいます。
(広報推進課 米澤)



PhotoTime
フォトタイム



……▶ 泉佐野市 90代(男性) 中野さま

独学で技術を習得され、採寸から木材の加工、組み立てまでご自身の手で行われています。頸椎症による両手の痺れや痛みにも負けず、「何かしていないと退屈や」とリハビリとして模型作りを再開。趣味が人生を豊かにするだけでなく、困難を乗り越える力にもなると考えさせられました。

理学療法士 土井
と

第8回こどもみらい環境学習会に
参加させていただきました

株式会社リニエール 渉外活動部門 米澤沙樹

令和7年2月18日、児童
デイサービスあおい鳥にて、
「第8回こどもみらい環境学
習会」が開催され、コグトレ
塾の作業療法士 本告がワー
クショップの講師を務めまし
た。「こどもみらい環境学習
会」では、『子どもの未来は地
域を育てることから』という
コンセプトのもと、児童デイ
サービスあおい鳥が主となっ
て、支援者同士の横のつなが
りを深める場を構築されて
います。子どもの成長を支え
るためには、様々な視点で関
わりながら支援者間で情報共
有できる関係性が重要です。

当日は、吹田市を中心に
放課後等デイサービスや相
談支援事業所、訪問看護な
どから職種を問わず20名の
方が参加され、株式会社me
diVRのmediVRカグ
ラ体験とともに、実際にコグ
トレ塾で行うプリントやコグ
トレ棒を使った身体運動を
体験いただきました。事業の
垣根を越えた選択肢の広が
りを実感いただき、それぞ
れの視点から、子どもたち
の豊かな未来に向けた熱い思
いを交わす場となりました。



…リニエールよりへのご意見、ご感想はこちら…

リニエールは皆さまとともにつくる広報紙を目指しています。ご意見、ご感想などございましたら
郵送・メールFAX・スタッフへのご伝言など、様々な方法でお待ちしております。
【リニエールグループ広報】 メールアドレス:pr@linie-group.jp FAX:06-6684-8906

